

骨子表（2022 版） 施工計画、施工設備及び積算 III問題用 (III-2) 週休二日の質の向上

問題	問題分析	解決の方向性	実現上のハードル	リスク対応の具体策
現状の分析、あるべき状態との差異	課題抽出 問題の発生原因分析 多面的に内容と共に示す	解決の方向性、すべきこと 1つ挙げ複数の解決策を述べる	新たに生じる懸念事項(2次リスク) ※新たに生じるリスク	制限事項への対応も踏まえた具体的な提案内容 ※専門技術を踏まえて回答
建設業従事者の処遇が悪い。 時間外勤務が多い。 週休2日の実現が困難。 若年就業者が少ない。 就業者全体が減少、後継者不足から来る事業継続困難の発生。	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外(現地)での単品注文生産。 ・作り置きができない。 ・天候、周辺条件により作業効率が左右される。 ・発注時期の偏りが大きい。 ・繁忙期と閑散期の差が大きい。 ・コンクリート工など人手に頼る作業が多い。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 適正な工期設定 (調達段階での観点) <ul style="list-style-type: none"> ・発注の平準化 ・早期発注、繰越、翌債の活用 ・前倒し積算 ・柔軟な工期の設定(余裕工期) 2. 施工の省力化、効率化 (施工段階での観点) <ul style="list-style-type: none"> ・ICT利活用による効率化 ・BIM/CIM ・Pca化、ユニット化 3. 民間工事、下請契約への拡大 (対象拡大での観点) <ul style="list-style-type: none"> ・建設業者47万社の9割は中小企業 ・国内建設投資の6割は民間工事 ・民間工事への拡大 ・下請契約工事への拡大 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 受注競争の鈍化 <ul style="list-style-type: none"> ・受注機会拡大、競争の鈍化 ・談合等の発生 2. 使いこなす技術が必要になる <ul style="list-style-type: none"> ・ICTに関する知識、技術 ・BIM/CIMに関する知識、技術 ・Pca化部材の接合技術等 ※従来技術の喪失 ※初期費用や維持費用の増加もあり。 3. 不適切な契約からの脱却が進まない <ul style="list-style-type: none"> ・不透明な契約の存在 ・下請への圧力、しわよせ 	多様な発注方式の推進、拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・総合評価 ・プロポーザル ・地域維持型 人材育成、教育 技術情報の見える化 技術情報の共有 ※技術の形式知化、アーカイブ